



飯田高校だより

第67号

令和8年3月30日
長野県飯田高等学校
教務係・学校評価委員会

「飯田高校だより」は、学校評価に関わる学校の情報を、保護者の皆様に来るだけわかりやすくお伝えすることを目的に年3回発行いたします。今号では、1月から3月までの様子と学校評価（最終評価）をお知らせします。

各種行事のようす

第78回卒業証書授与式

3月1日（日）、春の訪れを感じさせる快晴のもと、第78回卒業式が厳かに挙行されました。当日は同窓会・PTAのご来賓の皆様をお迎えし、大勢の保護者や在校生が見守る中、滞りなく式を執り行うことができました。

卒業生代表による答辞では、保護者への感謝、友人や学校への思いがあふれる言葉が述べられ、会場は静かな感動に包まれました。

式典後は、各教室で最後のホームルームが行われました。在校生が心を込めて描いた黒板アートを背に、担任の先生が一人ひとりに卒業証書を手渡し、最後のメッセージを伝えました。卒業生から保護者へ、感謝を伝える場面では、涙をぬぐう姿も見られました。校舎外ではそれぞれの班活動でお世話になった先輩を見送ろうと多くの後輩が集まり、別れを惜しみつつも、お互いの今後の幸せを願う温かな時間となりました。

今年は、239名の卒業生が飯田高校を巣立っていきました。卒業生たちはこれから、それぞれが選んだ道へと歩みを進めます。飯田高校での学びや出会い、経験を胸に、さらなる飛躍を期待しています。



2 学年理数科 理数探究発表会

2月5日（木）に上郷公民館にて理数探究発表会を行いました。2年生は9つの班に分かれて探究をしました。中には、多摩川精機㈱から講師を招いて実施したり、大学・工業試験場で実験・実習をさせていただいた班もあります。また、DXハイスクール事業により整備した3Dプリンタ等の機器を用いた班もありました。今年度から1学年で実施した模型飛行機探究からも代表1グループが研究発表をしました。質疑応答も活発になされ、とても活気のある探究発表会になりました。



同窓会講演会



3月5日(木)「AI時代の言葉と情報～アルゴリズムの海からじぶんを救出せよ～」の表題で、本校卒業生のコピーライターとしてだけでなく多方面でご活躍される佐々木公美子先生(高37)にご講演いただきました。

第1部では、AIとアルゴリズムの概要と、AI+アルゴリズムの海にさらされることで生まれる「情報ゾンビ(自分の考えを持たない状態)」にならないためには、どうすればいいのかについてお話をいただきました。自分が何に興味を持って心が引かれるのかを意識を向けるだけで、「情報ゾンビ」になることなくアルゴリズムの海から逃れることができるという大切なメッセージを、丁寧な言葉で伝えてくださいました。また第2部では、高松祭の実行委員とともに、高松祭のテーマについて分析し、その言葉の意味を全校の生徒とシェアする貴重な時間となりました。

その言葉の意味を全校の生徒とシェアする貴重な時間となりました。

2年普通科 探究発表会

3月3日(火)、2学年普通科探究発表会が行われました。今年の発表会は「全員が発表し、発表を通して仲間と交流する」をコンセプトに11講座、124(個人・グループ)の発表を3つの時間帯に分けて行いました。ポスター・論文発表や作品展示、スライドによるプレゼンテーションなど、それぞれのテーマにあった発表形式で1年間ゼミや講座で探究してきたことを発表し、質疑応答し合う楽しい時間になりました。



1年普通科 探究発表会

3月3日(火)、1学年普通科の探究活動発表会が行われました。今年度は各ジャンルから代表を10グループ選出し、オンラインで各HR教室に配信する形式で実施しました。どのグループも意欲的で斬新な発想と着眼点に基づいた内容で、とても素晴らしかったです。

各発表に対する感想と終了後の全体講評を、1年間外部コーディネーターとして伴走していただいた関口真司さんをお願いしました。今回の探究発表会に刺激を受けて、来年度の探究活動がさらに深まることを期待しています。



生徒自治会主催の「飯田高校魅力化シンポジウム」

近代国家の学校というシステムは、社会の近代化や経済発展のために有為な人材を地方から輩出するためのものでしたが、人口構造の転換や地方創生が政治的課題となる中、これまで難関大学に多くの人材を輩出してきた高校でも、地域探究を通じて地域を支える人材の養成に眼を向けることが必要な時代になってきました。

生徒自治会では県の事業である「高校生による県立学校の魅力化プロジェクト」に令和7年度から取り組んできました。生徒会役員を中心に地域の様々なイベントや学習会に参加しながら地域課題についての学びを重ね、そこで出会った鳥取大学地域学部の筒井一伸先生、信州大学大学院総合理工学研究科の吉武駿先生、長野県立大学地域コーディネーターの新井直彦先生を助言者パネリストとしてお招きして「飯田高校の魅力化シンポジウム」を企画、年度末の3月6日に開催しました。



LHRでの生配信告知や意見集約、生徒大会での全校議論を経て、時間をかけて準備したシンポジウムを実施できたことは、執行部生徒たちの大きな自信となりました。

🍁 班活動 新各種大会結果 (前回載せられなかったものを中心に)

剣道	男子団体 県大会 ベスト8 男子個人 県大会2E 佐々木 ベスト16 女子個人 県大会 2A 飯島 1回戦出場
陸上	【1/1 第74回元旦競歩(東京)】 男子 U20 10km 小幡千尋 40分49秒 優勝 県高校新記録 【2/15 第37回 U20 選抜競歩(神戸)】 U20 選抜 男子 10km 小幡千尋 41分08秒 7位入賞 【3/15 第50回全日本競歩能美大会(石川)】 男子高校 10km 小幡千尋 41分24秒 4位入賞
卓球	男子団体 県大会1回戦 3-2 佐久長聖 2回戦 2-3 長野俊英 男子個人 県大会 2A 横田 1回戦敗退 2E 小久江 1回戦敗退 女子団体 1回戦 3-1 長野 2回戦 3-1 上田東 3回戦 0-3 松商学園 (県ベスト8) 女子個人 県大会 2D 菅原 1回戦敗退 2D 宮嶋 1回戦敗退
バドミントン	2/7(土)~8(日) 南信選手権(2年生大会)2/7(土)~8(日) ダブルス 2B 澤村・2E 遠山 優勝 2B 伊藤・2B 井澤 3位 シングルス 2B 澤村 優勝 ドリームカップ(高校からバド競技を始めた人限定の大会) 南信地区代表決定戦 1A 松平 予選リーグ 1位通過 南信代表として3/22(日)県大会へ出場
バレーボール	女子 県大会1回戦 2-1 小諸商業・小諸 2回戦 2-0 上田西

弓道班全国大会出場

12月23日(火)~25日(木)、静岡県藤枝市にて開催された第44回全国高等学校弓道選抜大会に出場しました。

23日の個人戦に2年D組宮嶋海選手が出場し、決勝戦まで進出しましたが4本目で敗退、24日の団体予選は決勝トーナメント進出をかけた競射に進みましたが、惜しくも予選敗退となりました。

男子は26年ぶりの県新人戦優勝、北信越新人戦2位という実績を積み重ね、全国大会という大舞台に立つことができました。来年度のインターハイ出場を目指し、精進していきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



ラグビー班全国大会花園出場

第106回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場しました。

飯田高校は1回戦12月28日(日)倉吉東高校(鳥取)と対戦し、磨き上げてきたモールで大量得点を挙げ勝利しました。30日(火)の2回戦では目黒学院高校(東京)に敗れました。選手たちは最後まであきらめず果敢にタックルをしていました。たくさんの応援ありがとうございました。



空手班全国大会出場

令和8年3月23日(月)~26日(木)に開催された第45回全国高等学校空手道選抜大会に、飯田高校空手班も男子団体組手(5人制)、男子団体形で出場しました。出場した生徒は全員、高校で初の全国大会でしたが、自身の持てる力を出し切って戦うことができました。また、今回は長野県松本市のエア・ウォーターアリーナ松本での開催だったため、選手以外の生徒も大会運営で多くの活躍を見せてくれました。来年度、またこの舞台に選手として立てるよう、これからの活動も頑張っていきます。





学校評価

1年間本校の教育活動にご支援・ご理解をいただきありがとうございました。評

価の結果をふまえ、今後の学校運営に生かしてまいります。

令和7年度 長野県飯田高等学校 学校関係者評価アンケート（学校評議員・PTA評議員）

☆「評価項目」について、よりよい学校づくりのために評価をお願いします。

評価項目	評価の観点と評価	1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
		(該当するものに○をしてください)				
学校教育目標	教育基本法における教育の目的、ならびに学校教育法における高等学校の教育目標達成を期し、社会の推進に貢献できる人材の育成につとめる 1 勉学に励み知性を錬磨すること 2 心身を鍛錬し頑健な身体を作ること 3 豊かな情操を養い、調和のとれた人間となること 4 旺盛な実行力を培い、不屈の精神を養うこと 5 和して同じない個性の確立につとめ、自主独立の人間となること					
今年度重点目標	1 いじめや暴力を許さない人間を育て、安心で安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現に向けた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心で信頼される、開かれた学校づくりを進める					
安心で、安全な環境づくり	1 教職員間で情報・指導の共有化ができていたか	21.4%	42.9%	17.9%	0.0%	17.9%
	2 安全管理や危機管理意識を高める取り組みができていたか	21.4%	57.1%	10.7%	0.0%	10.7%
	3 授業や特別活動を通じて、人権意識を高める取り組みができていたか	21.4%	57.1%	3.6%	7.1%	10.7%
	4 安全・快適な学校環境づくりに努力できていたか	25.0%	57.1%	10.7%	0.0%	7.1%
キャリア意識の醸成	5 教職員間で情報・指導の共有化ができていたか	14.3%	53.6%	10.7%	0.0%	21.4%
	6 授業内容・方法を工夫し、生徒の学ぶ意欲を高める授業が実践できていたか	7.1%	82.1%	7.1%	0.0%	3.6%
	7 基本的な生活習慣・自主的な学習習慣をつくるための指導ができていたか	7.1%	78.6%	10.7%	0.0%	3.6%
	8 キャリア意識を醸成する実践が、授業や特別活動を通じてできていたか	3.6%	67.9%	17.9%	0.0%	10.7%
生徒の自主・自立支援	9 生徒会やHR活動、班活動等で、生徒の自主性・自立性・自律性を高める支援ができていたか	21.4%	67.9%	3.6%	0.0%	7.1%
開かれた学校づくり	10 学校に関する各種情報が生徒や保護者、地域に適切に提供できていたか	17.9%	57.1%	14.3%	7.1%	3.6%
	11 生徒や保護者、地域の意見・要望を積極的に把握し、それに対して適切に対応できていたか	17.9%	42.9%	25.0%	0.0%	14.3%

令和7年度 学校関係者評価アンケート（対象：教職員）

①評価の欄に1～5の数字をご記入ください。

1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 5 わからない

② それぞれの項目に関連することで、気が付いたことなど自由にご記入ください。

学校教育目標	教育基本法における教育の目的、ならびに学校教育法における高等学校の教育目標達成を期し、社会の推進に貢献できる人材の育成につとめる 1 勉学に励み知性を練磨すること 2 心身を鍛錬し頑健な身体を作ること 3 豊かな情操を養い、調和のとれた人間となること 4 旺盛な実行力を培い、不屈の精神を養うこと 5 和して同じでない個性の確立につとめ、自主独立の人間となること					
今年度重点目標	1 いじめや暴力を許さない人間を育て、安心で安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現にむけた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心で信頼される、開かれた学校づくりを進める					
評価項目	評価の観点	1	2	3	4	5
安心で、安全な環境づくり	1 教職員間で情報・指導の共有化ができたか	20.0%	68.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	2 安全管理や危機管理意識を高める取り組みができたか	16.7%	79.2%	4.2%	0.0%	0.0%
	3 授業や特別活動を通じて、人権意識を高める取り組みができたか	24.0%	64.0%	8.0%	0.0%	4.0%
	4 安全・快適な学校環境づくりに努力できたか	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
キャリア意識の醸成	5 教職員間で情報・指導の共有化ができたか	20.0%	72.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	6 授業内容・方法を工夫し、生徒の学ぶ意欲を高める授業が実践できたか	24.0%	76.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7 基本的な生活習慣・自主的な学習習慣をつくるための指導ができたか	16.0%	76.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	8 キャリア意識を醸成する実践が、授業や特別活動を通じてできたか	20.0%	72.0%	4.0%	0.0%	4.0%
生徒の自主・自立支援	9 生徒会やHR活動、班活動等で、生徒の自主性・自立性・自律性を高める支援ができたか	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
開かれた学校づくり	10 学校に関する各種情報が生徒や保護者、地域に適切に提供できたか	28.0%	60.0%	8.0%	0.0%	4.0%
	11 生徒や保護者、地域の意見・要望を積極的に把握し、それに対して適切に対応できたか	12.0%	84.0%	0.0%	0.0%	4.0%
目標設定	12 学校目標は適切であると思いますか	44.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%